

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 平成 30 年度インフルエンザ HA ワクチン製造株の決定について
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0 4 9 3 - 5 9 - 9 3 2 5
F A X 0 4 9 3 - 5 9 - 9 6 1 3
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第16週（平成30年4月16日～平成30年4月22日）

今週の注目される疾患

図は次ページ参照

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E型肝炎2人、A型肝炎1人、オウム病1人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、後天性免疫不全症候群1人、侵襲性肺炎球菌感染症6人、梅毒5人、百日咳3人の届出があった。

定点把握対象疾患では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.52 4.10：図1)の定点当たり報告数は急増した。県内15保健所で前週の定点当たり報告数を上回り、特に県南東部に位置する南部(10.00 13.20)、川口市(4.23 6.77)、草加(1.75 5.50)保健所管内で増加が著しい。咽頭結膜熱(0.26 0.43：図2)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では南部(0.60 2.20)保健所管内で大きく増加し、川口市(1.23)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1歳、次いで2歳からの報告が多い。RSウイルス感染症(0.32 0.35)の定点当たり報告数は前週と同水準であるが、依然過去4年の同時期よりも高い水準となっている。保健所別では、幸手(0.89 2.00)保健所管内で大きく増加した。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎(0.75 0.79：図3)31人の報告があり、後者はやや多い状況が続いている。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎2人、感染性胃腸炎（ロタウイルス）2人、インフルエンザ（入院）8人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

四類感染症	E型肝炎	2人（推定感染地域 国内2人）
	A型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	オウム病	1人
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	後天性免疫不全症候群	1人（病型 AIDS）
	侵襲性肺炎球菌感染症	6人
	梅毒	5人（病型 早期顕症 期2人 早期顕症 期2人 無症状病原体保有者1人）
	百日咳	3人（年齢階級 9歳1人、30歳代2人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

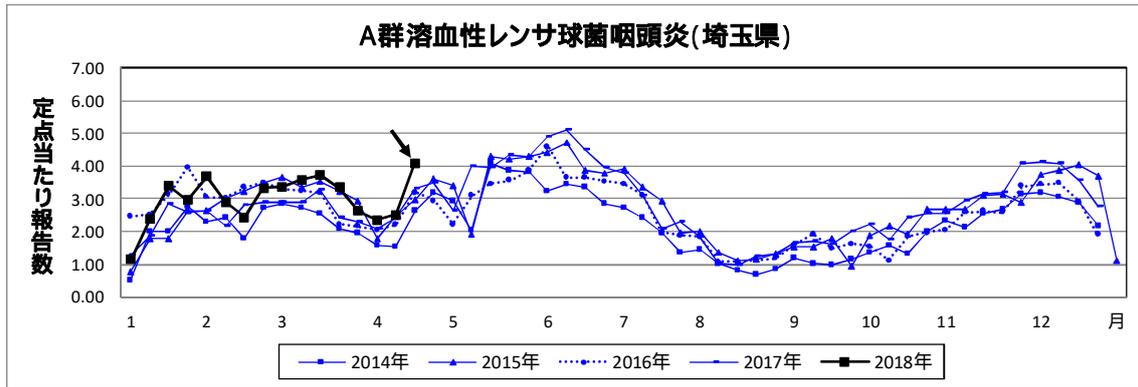


図2 咽頭結膜熱

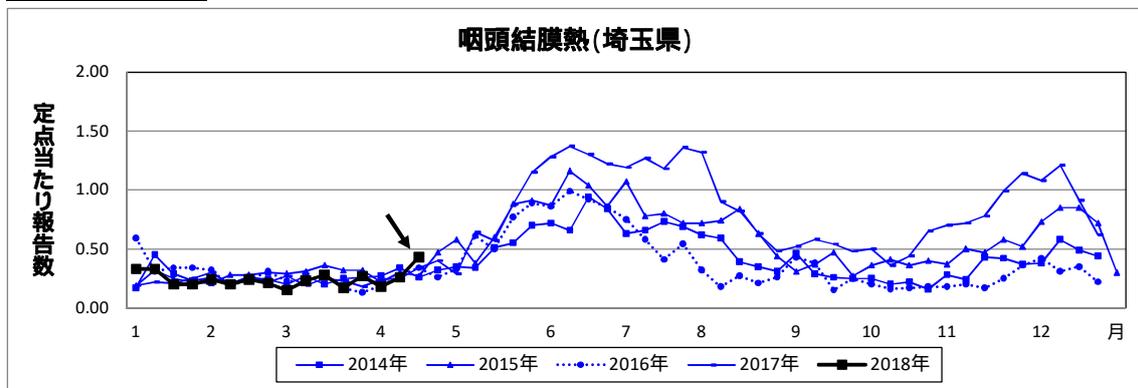
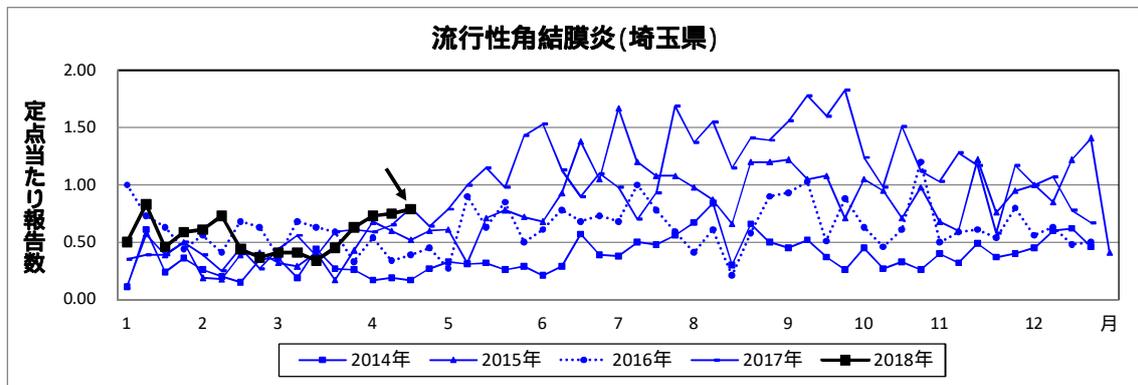


図3 流行性角結膜炎



～平成30年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について～

インフルエンザHAワクチン製造株について、厚生労働省から下記の通り決定した旨の通知がありました。

- A型株 A/シンガポール/GP1908/2015 (IVR-180) (H1N1) pdm09
 A/シンガポール/INFIMH-16-0019/2016 (IVR-186) (H3N2)
- B型株 B/プーケット/3073/2013 (山形系統)
 B/メリーランド/15/2016 (NYMC BX-69A) (ビクトリア系統)

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第16週)

(2018年4月24日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ		1	腸チフス		1
細菌性赤痢		6	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		16			
四類感染症					
E型肝炎	2	11	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	5	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病	1	1	ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		11
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	11	水痘*		2
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		16	梅毒	5	53
急性脳炎		17	播種性クリプトコックス症		1
クリプトスポリジウム症			破傷風		
クロイツフェルト・ヤコブ病			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	8	百日咳	3	62
ジアルジア症			風しん		2
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
侵襲性肺炎球菌感染症	6	56			
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	1	1		

累計は診断日で集計
*結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査週情報 (第16週) 平成30年4月16日～平成30年4月22日

保健所	インフルエンザ # 1		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎 # 2		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎 # 3		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(入院)		インフルエンザ	
	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり	報告数	報告当たり		
全	212	0.82	57	0.35	71	0.43	672	1.064	70	0.43	0.43	0.04	6	0.04	0.12	0.12	106	0.65	0.02	0.02	4	0.09	0.03	0.03	1	0.31	1	0.18	2	-	-	-	-	2	0.73	8		
朝	22	0.96	6	0.40	7	0.47	71	1.49	11	0.73	0.73	-	-	-	3	0.9	9	0.60	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4		
鴻	15	0.79	2	0.17	3	0.25	27	0.60	2	0.17	0.17	1	0.08	1	0.58	7	0.58	-	-	1	0.08	0.33	0.33	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東松	1	0.13	1	0.20	-	-	13	2.8	1	0.20	0.20	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	3	0.60	-	-	-	-	4	-	1	0.33	0.33	-	-	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	30	4.29	-	-	2	0.50	10	2.50	4	0.50	0.50	2	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
熊	18	1.29	1	0.11	1	0.11	28	6.9	1	0.11	0.11	-	-	-	-	6	0.67	-	-	1	0.11	0.11	0.11	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
加	9	0.90	4	0.67	-	-	7	-	3	0.17	0.17	1	0.17	1	0.33	2	0.33	-	-	2	0.11	0.11	0.11	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日	-	-	-	-	3	0.50	21	5.7	1	0.17	0.17	-	-	-	-	3	0.33	1	0.11	1	0.11	0.11	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	7	0.50	18	0.50	5	0.32	32	2.9	6	0.32	0.32	-	-	-	2	0.67	6	0.50	1	0.11	0.11	0.11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂	14	1.40	-	-	1	0.17	21	4.0	2	0.33	0.33	-	-	-	-	1	0.17	-	-	3	0.50	0.50	0.50	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草	14	0.74	3	0.25	7	0.58	66	6.8	5	0.42	0.42	-	-	-	1	0.58	7	0.58	-	-	1	0.08	0.08	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
狭	17	0.68	2	0.13	4	0.25	65	8.2	11	0.69	0.69	3	0.19	0.06	0.06	8	0.58	3	0.11	3	0.06	0.06	0.06	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
南	7	0.88	2	0.40	2	0.20	66	6.0	2	0.40	0.40	-	-	-	1	0.80	4	0.50	2	0.06	0.06	0.06	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	7	0.54	7	0.88	-	-	33	3.4	5	0.63	0.63	-	-	-	1	0.38	3	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越	3	0.23	-	-	1	0.13	33	1.6	3	0.38	0.38	-	-	-	4	0.75	6	0.25	2	0.06	0.06	0.06	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
川	18	0.90	8	0.62	16	1.23	88	15.4	8	0.62	0.62	1	0.08	0.08	0.08	9	0.69	1	0.08	1	0.08	0.08	1	7	1	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
さい	27	0.66	3	0.11	10	0.37	87	21.4	6	0.22	0.22	-	-	-	27	1.00	4	0.04	1	0.04	0.04	0.04	4	1	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

(- : 0.00) # 1 鳥インフルエンザを除く

2 真菌性を含む

3 オウム病を除く

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (第16週 平成30年4月16日～平成30年4月22日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	212	1	4	9	6	15	12	12	8	8	8	1	33	19	15	20	14	14	4	3	6
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	57	4	14	22	12	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	71	-	7	18	16	5	7	4	7	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	672	1	1	26	47	58	86	80	86	71	63	46	66	6	35	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,064	10	66	136	103	84	91	102	70	85	64	57	97	20	79	-	-	-	-	-	-
水痘	70	1	3	6	3	4	17	5	5	6	2	7	8	2	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	6	-	1	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	20	-	-	2	2	2	-	6	2	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	106	-	41	53	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	-	-	2	1	-	3	1	2	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	31	-	-	2	2	1	-	2	-	1	1	-	1	2	1	5	6	3	4	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	8	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第14週 (4月2日～4月8日)

平成30年4月25日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(8.03)、山形県(7.10)、岩手県(6.62)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は185例と前週と比較して減少した。都道府県別では39都道府県から報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～9歳(27例)、10代(2例)、20代(3例)、30代(4例)、40代(4例)、50代(4例)、60代(20例)、70代(37例)、80歳以上(79例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.47)、宮崎県(0.94)、愛媛県(0.84)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島(1.15)、福井県(0.68)、新潟県(0.61)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.26)、福井県(4.14)、石川県(3.31)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(9.47)、広島県(7.67)、愛媛県(7.46)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.88)、新潟県(0.72)、山梨県(0.71)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.25)、長崎県(1.48)、佐賀県(0.96)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手(0.40)、神奈川県(0.31)、石川県(0.31)、東京都(0.23)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.86)、青森県(0.64)、鹿児島県(0.59)である。

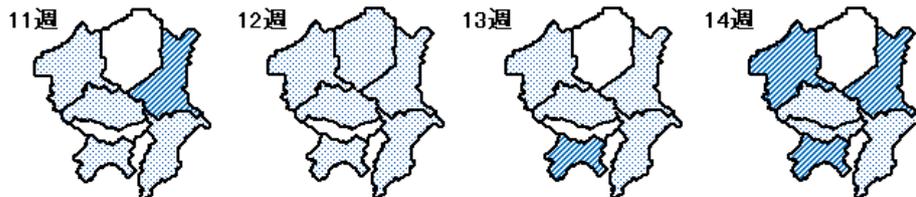
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は秋田県(1.00)、沖縄県(0.43)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。40都道府県から203例報告があり、年齢別では0歳(14例)、1～4歳(139例)、5～9歳(42例)、10代(3例)、30代(1例)、50代(2例)、70歳以上(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第14週(4月2日～4月8日): 通巻第20巻 第14号 より

<関東情報>

流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、神奈川県(1.92)、群馬県(1.67)、茨城県(1.59)からの報告が多い。

流行性角結膜炎



平成30年 14週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	9,859	1,571	140	111	101	277	182	452	308
	定点当たり	2.00	1.04	1.17	1.46	1.15	1.08	0.86	1.10	0.90
RSウイルス感染症	報告数	1,001	212	8	13	15	55	32	54	35
	定点当たり	0.32	0.22	0.11	0.27	0.28	0.34	0.24	0.21	0.16
咽頭結膜熱	報告数	798	174	24	4	13	29	43	27	34
	定点当たり	0.25	0.18	0.32	0.08	0.24	0.18	0.33	0.11	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,887	1,796	135	74	106	382	260	478	361
	定点当たり	1.87	1.90	1.80	1.54	1.96	2.34	1.97	1.86	1.66
感染性胃腸炎	報告数	13,525	3,729	223	144	266	730	436	1,209	721
	定点当たり	4.29	3.94	2.97	3.00	4.93	4.48	3.30	4.70	3.32
水痘	報告数	1,117	376	22	20	20	95	56	80	83
	定点当たり	0.35	0.40	0.29	0.42	0.37	0.58	0.42	0.31	0.38
手足口病	報告数	533	58	5	7	8	6	9	14	9
	定点当たり	0.17	0.06	0.07	0.15	0.15	0.04	0.07	0.05	0.04
伝染性紅斑	報告数	256	154	-	6	-	8	12	60	68
	定点当たり	0.08	0.16	-	0.13	-	0.05	0.09	0.23	0.31
突発性発しん	報告数	1,337	432	22	19	31	70	55	118	117
	定点当たり	0.42	0.46	0.29	0.40	0.57	0.43	0.42	0.46	0.54
ヘルパンギーナ	報告数	60	14	1	-	-	-	5	5	3
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	-	-	-	0.04	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	443	89	8	2	13	8	11	19	28
	定点当たり	0.14	0.09	0.11	0.04	0.24	0.05	0.08	0.07	0.13
急性出血性結膜炎	報告数	17	6	-	-	-	4	-	-	2
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.10	-	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	506	227	27	3	25	29	25	20	98
	定点当たり	0.72	1.09	1.59	0.25	1.67	0.73	0.71	0.53	1.92
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-	0.10
無菌性髄膜炎	報告数	10	3	-	-	-	1	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.09	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	60	13	2	-	2	2	-	5	2
	定点当たり	0.13	0.15	0.15	-	0.22	0.18	-	0.20	0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数	8	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	203	13	1	3	1	1	2	3	2
	定点当たり	0.42	0.15	0.08	0.43	0.11	0.09	0.22	0.12	0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2018年 > 感染症の流行状況 2018年 第16週

感染症発生動向調査 2018年

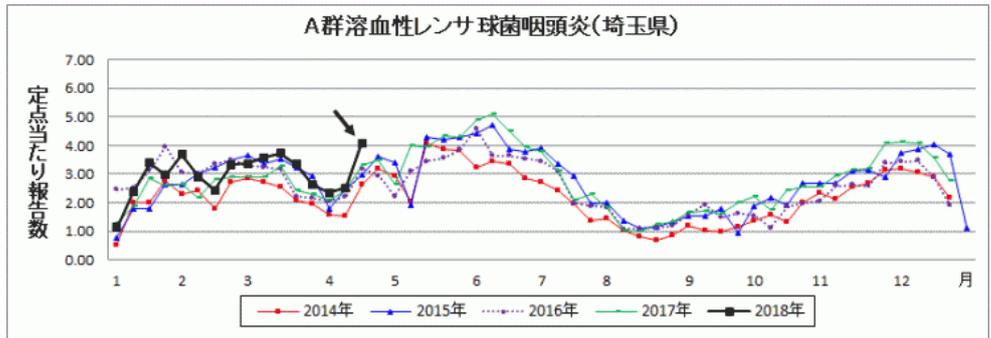
- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第15週](#)

感染症の流行状況 2018年 第16週

2018年第16週（平成30年4月16日～4月22日）の要点 平成30年4月25日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、急増しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	↓	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン